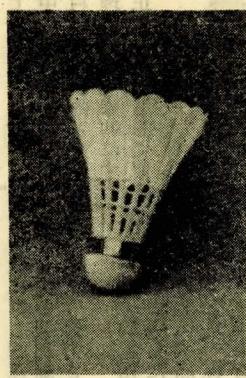


第8回國民体育大会

バドミントン競技
10月22日—26日

第一會場
第二會場
第三會場
育
央
部
體
中
東
講
講
館
堂
堂



國民体育大会を
迎えるに當つて

善通寺町長 三好泰三

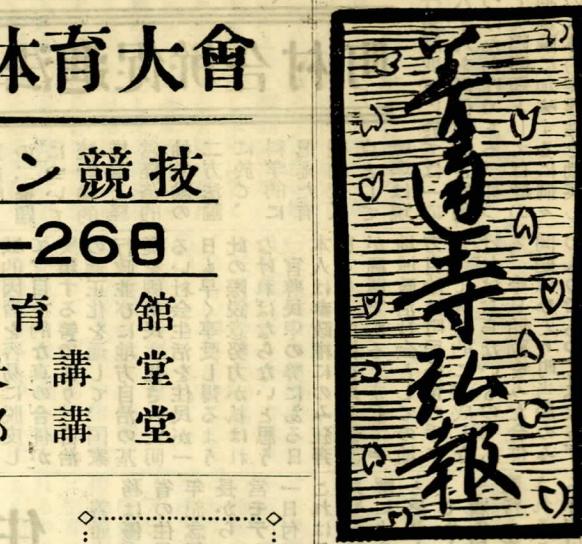
今秋十月二十二日より
二十六日迄国民体育大会
バドミントン競技が当善
通寺町に於て行われるこ
とになり既に各位の絶大
なる御協力の下に着々準
備をすゝめて参りました
御蔭を以て、各方面にわ
たつて、逐次態勢が整い
この調子ならば一応安堵
の胸をなでおろしている
次第であります。然し今
回の大会には全国各府県
から十六名乃至十八名の
選手が参加され之等の人
達が始めての四国善通寺
の印象を持つて帰ること
になるので此の大会は当
町としても極めて重要な
ものと考えられるのであ
ります。

私は特に虚構の識者を紹介する
好印象を与え様とは思ひの
はないが弘法大師の誕生
は地善通寺町民として恥か
しくない善意にみちた町
として認識され全国に紹
介されれば之に越したこ
とではないであります。

五日間の計算で利益しよ
うとするよりは遠い将来
に向つて、良い所、善通
寺、弘法大師誕生の地善
通寺に全国各地からの旅
客に接する事とだと
思ひます。道を尋ねる者
の心が動く様に種を蒔
く方が賢明であると思
う

私の感想の一端を述べて
お聞かせ下さい。

賢明なる皆様にはおぬ
かりはないと思ひますが
皆様の御賛同と御協力を
得度いと思ひます。何卒
よろしく御願申上ます。



発行所
善通寺町弘報委員会
編集者 正武高橋
発行者 橋印所

バドミントン競技

善通寺町における
國体あれこれ

○選手等の到着
バドミントン競技に参
加する選手役員等都道府
県には到着します。この

○選手等の到着
外にバドミントン協会の
本部の方々や審判員とし
て他府県の人が同時に参
ります。

○宿舎への案内等

町の国体実行委員では

駅前と赤門停留所に案内

所を設け、保安隊の協力

による車輛で夫々既定の

宿舎に案内します。町の

人も道の途中などで尋ね

られた時は誰でも親切に

応待して下さい。

○競技の会場

第一会場—体育館

第二会場—中央小学校

第三会場—東部小学校

講堂

練習場—誠学園講堂

○競技の入場料

第一会場—

第二会場—

第三会場—

講堂

○開会式

二十二日午前屋島で行
われる第八回国体開会式

に参加した選手役員等が

三時半過ぎ多度津駅より

バスにて帰着

○閉会式

二十六日競技終了後体

育館で行われます。

各会場共入场料がいり

ます。料金は別掲の通り

です。前売券を御利用下

さい。

○競技の観覧

各会場共入场料がいり

ます。料金は別掲の通り

です。前売券を御利用下

さい。

社會福祉協議會行事



秋 風 路

与謝野 寛

町村合併促進法の施行に際して

(承前)

九月十五日老人の日をトして町各中小学校生徒から標語ボスターを募集し町協理事会に於て審査の結果左記入賞者作品に賞品を贈つた。

一等 標語 南部六年 老人をみんなで助けて明るい家庭

二等 中央四年 吉川洋二 年よりいたわる

三等 中央五年合作

四等 東部三年 真鍋あきひこ

五等 東部六年 大川祝子

六等 東部三年 大川文彦

七等 東部六年 梶有為子

八等 南部六年 八木久子

九等 中学一年 長尾賢一

十等 中学一年 鈴木照康

十一等 中学二年 年寄りのおかげ

十二等 中学二年 門に福来たる

十三等 中学三年 真鍋あきひこ

十四等 中学四年 鈴木照康

十五等 中学四年 吉川洋二

十六等 中学四年 吉川洋二

十七等 中学四年 吉川洋二

十八等 中学四年 吉川洋二

十九等 中学四年 吉川洋二

二十等 中学四年 吉川洋二

二十一等 中学四年 吉川洋二

二十二等 中学四年 吉川洋二

二十三等 中学四年 吉川洋二

二十四等 中学四年 吉川洋二

二十五等 中学四年 吉川洋二

二十六等 中学四年 吉川洋二

二十七等 中学四年 吉川洋二

二十八等 中学四年 吉川洋二

二十九等 中学四年 吉川洋二

三十等 中学四年 吉川洋二

三十一等 中学四年 吉川洋二

三十二等 中学四年 吉川洋二

三十三等 中学四年 吉川洋二

三十四等 中学四年 吉川洋二

三十五等 中学四年 吉川洋二

三十六等 中学四年 吉川洋二

三十七等 中学四年 吉川洋二

三十八等 中学四年 吉川洋二

三十九等 中学四年 吉川洋二

四十等 中学四年 吉川洋二

四十一等 中学四年 吉川洋二

四十二等 中学四年 吉川洋二

四十三等 中学四年 吉川洋二

四十四等 中学四年 吉川洋二

四十五等 中学四年 吉川洋二

四十六等 中学四年 吉川洋二

四十七等 中学四年 吉川洋二

四十八等 中学四年 吉川洋二

四十九等 中学四年 吉川洋二

五十等 中学四年 吉川洋二

五十一等 中学四年 吉川洋二

五十二等 中学四年 吉川洋二

五十三等 中学四年 吉川洋二

五十四等 中学四年 吉川洋二

五十五等 中学四年 吉川洋二

五十六等 中学四年 吉川洋二

五十七等 中学四年 吉川洋二

五十八等 中学四年 吉川洋二

五十九等 中学四年 吉川洋二

六十等 中学四年 吉川洋二

○遠來のお客様を親切に気持よくお迎え致しましたよ

自石灰の使用
麦特に裸麦は酸性に弱
いから土壤の酸度を検定
して適量の石灰で中和す

包装は其途中
に於て編方または
荷造方法等が一
尙本年産米については
用が多くなつた
ども必ず包装予検を受け

器は俵となるのでありま
すが一応包装を左記に依
する場合等級証印を抹
消のこと。

①繩 ②俵底繩一分五厘、③小口かがり繩三分

④さん俵しめ繩三分、⑤

⑥食糧事務所

約一尺の円形に縁を組み

重量約九〇匁とする。

③俵弦

(食糧事務所)

約一尺の円形に縁を組み

重量約九〇匁とする。

④さん俵

郵便事故は

すぐ届けて下さい

